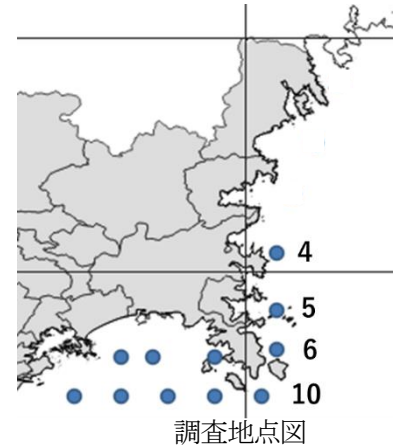


令和5年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.2)

令和5年5月1日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和5年4月28日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で11.9~13.7℃の範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン *Alexandrium* spp. が40~100細胞/L確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン *Dinophysis fortii*は、0~20細胞/L、*D. acuminata*が0~70細胞/L確認されました。



調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				4月28日	4月5日	4月28日	4月5日	4月28日	4月5日	4月28日	備考
4	10:40 (86)	7.0	12.7	90	20	20	0	0	0	10	<i>D.norvegica</i> : 10
5	10:00 (31)	9.0	12.7	50	80	0	0	0	10	0	
6	9:22 (67)	10.0	11.9	40	20	20	0	10	10	0	
10	8:37 (84)	5.0	13.7	100	180	0	0	70	20	20	<i>D.norvegica</i> : 20